

まちの話題



歴史を探訪した 舟入川ウォーキング

人々の交流や農業用水として重要な役割を果たしてきた舟入川沿いを歩き、香長平野の歴史にふれる「舟入川ウォーキング」が九月二十三日に開催され、約百六十人が参加しました。



舟入川沿いを8キロウォーキング

このイベントは、山田堰井筋土地改良区が中心となつた実行委員会が主催したもので、今回で四回目の開催となりました。

参加者は、旧山田堰跡を発し、南国市駅前公園まで八キロをウォーキングしました。途中、山田堰や舟入川の建設に尽力した野中兼山にまつわる史跡を訪れ、歴史講演も聴講しました。また、小学生らがコース途中から約二キロのいかだ下りに挑戦しました。材木をいかに組んで運んだ」とい昔のエピソードにちなんだもので、心地よい汗を流しながら舟入川の歴史を学んでいました。

大勢の人出でにぎわった 刃物まつり

今年も隣接する「第十回高知工科大学祭」とあわせて行われた刃物まつり。

会場では、打刃物の展示販売や鍛造体験など多彩なイベントが催されたほか、姉妹都市・北海道積丹町の物産店など多くの出店も並び、にぎわっていました。

恒例の「山田のかかしコンテスト」には、百七点の作品が出品され、世相を反映したユニークな作品が訪れた人々を楽しませていました。



ユニークなかかしの作品



7トンの不法投棄物を回収

香北町青年団等が 不法投棄物を回収

十月七日、香北町青年団が毎年行っているクリーン計画を実施しました。今回は香北町小川の影ノ谷の不法投棄物の回収を重点目標とし、団員七人と今年新たに土佐山田ライオンズクラブから五人が参加し、作業が進められました。

当日は、午前中に影ノ谷で作業を行い、午後からは二班に分かれ、不法投棄物の回収と香北町商店街・アンパンマンミュージアムに設置されているアンパンマンキャラクターの石像磨き

を行い、コケのついた石像をきれいに磨き上げていました。

この日、回収された不法投棄は約七トンになりましたが、全部を回収できておらず、青年団は次回もこの影ノ谷をきれいにしたいと意気込みを語っていました。

平和への思いを新たに 香美市戦没者追悼式



参列者が献花

十月二日に中央公民館でしめやかに行われ、遺族ら約百七十人が参列しました。戦没者に黙とうをささげ、参列者が次々に献花をし、霊柱に手を合わせて、平和への思いを新たにしています。

物部川濁水問題報告会を開催

十月一日に「物部川濁水問題報告会」がJ A土佐香美本所で開催され、物部川の流域で暮らす住民ら約二百八十人が参加しました。

報告会は、香美市・香南市・南国市とアクア・リブル・ネットワークで構成する「物部川流域ふるさと交流推進協議会」が主催し、濁水が深刻化する物部川の現状を流域住民に伝えるために開催されたものです。はじめに高知県河川防災課が、物部川の濁水状況と現状の取り組みをデータや写真を使って説明し、続いて、J A土佐香美の西村正専務が、濁水の長期化が農業に与える影響について報告しました。

最後に、南国市（浜田 純）・香南市（仙頭義寛）・香美市（門脇樞夫）の三市長が、それぞれ、物部川に対する思いを体験談などを交えて語り、濁水対策についても、物部川

流域を共有する三市間で連携・協力しながら、取り組んでいくことを表明しました。

また、当日は、報告会の開催に先立ち、フォトジャーナリスト高野弘さんによる「物部川支援高野弘フォトコンサート」（J A土佐香美・物部川21世紀の森と水の会「主催」）が開催され、入場料の一部は、物部川の環境保全活動に活用されるとのことです。



約280人が参加し、物部川の環境について考えた



笑いあり、交流あり 香美市老人大学

「第一回香美市老人大学（市社会福祉協議会・市老人クラブ連合会主催）」が、十月四日、奥物部ふれあいプラザで開かれ、二百二十人が聴講に訪れました。

合併後初の開催となった今回は、物部町出身の近藤朝昭（司亭 孫笑楽）さんによる「人生笑いがいちばん」と題した講演があり、参加者は笑いを交えながら熱心に聴講しました。また、市保健師による健康体操指導、いざなぎ流保存会の舞神楽の披露、老人クラブ有志による芸能発表もあり、気持ちの良い秋の一日に、参加者が共に交流を深めました。

ドライバーに コーヒーマーケットサービス

秋の交通安全運動期間中の九月二十六日、市商工会サービス業部主催の「コーヒーマーケット」が香美警察署前で行われました。

過労運転・居眠り運転を防止しようと毎年行われているもので、今年で三十六回目となります。商工会員のほか交通安全関係団体等も参加し、ドライバーに缶コーヒーマーケットと交通安全啓発チラシのセット約六百五十が次々と手渡され、安全運転をPRしていきました。



居眠り運転防止に缶コーヒーマーケット

笠井信輔さんが 講演



笠井信輔さん

男女共同参画推進講演会として、フジテレビアナウンサーの笠井信輔さんの講演が、九月二十三日、高知工科大講堂で開催され、約三百二十人が聴講しました。笠井さんは、当時の業界では画期的であったという「妻の出産に立ちあうため」に番組を休んだというエピソードや、三人の息子とのコミュニケーションなどについて話し、夫として、父親として、育児について感じた「家族・親の協力、育児仲間などいろいろな支援の大切さ」を語りました。

百歳のご長寿 おめでとつございます

今年、香美市では四人の方が百歳を迎えられました。
九月十九日に、門脇市長が四人の方を表敬訪問し、長寿を祝いました。

百歳を迎えられた方々

- (敬称略)
- 谷 恒子 (土佐山田町北組西)
- 田中 春子 (香北町五百蔵)
- 岡本千登勢 (香北町永野)
- 猪野千鶴猪 (土佐山田町百石町)



百歳を祝し

香美市市民大学講座

九月二十五日から十月十二日にかけて、中央公民館と保健福祉センターで開講され、全五講座を約七百四十人が聴講しました。

香美市として第一回目の今回は、講師に三浦雄一郎さん、山本一力さん、江村利雄さん、丘乃れいさん、岩崎義郎さんを招いて開催。多彩な内容の講演に参加者も熱心に耳を傾けていました。



地域で盛り上がった敬老会

九月から十月にかけて市内各地区で敬老会が開催され、七十五歳以上のお年寄りの長寿が祝われました。
今年、市内で六十六地区千四百人を超える高齢者が敬老会に参加しました。



子どもたちからプレゼント(繁藤地区敬老会)

市民のひろば

まちの声

関西香美市ふるさと会

毎年二月に土佐山田出身の方々と、関西土佐山田ふるさと会を(二十回)開催しております。土佐山田出身の方々と田舎より、町長や議長ほか多数ご参加いただき、皿鉢料理や田舎の特産物に囲まれ、楽しいひとときを過ごしました。

ひとときを一緒に過ごしていきたくて思っております。新生(仮称)関西香美市ふるさと会とし、これからの開催にあたり香北、物部のご出身の方で関西にお住まいのご親戚、ご兄弟、知人、友人の方をご紹介ください。また、個人情報保護のご了承のうえご紹介のほどよろしく願います。

何かご不明、ご質問がありましたら次までお問い合わせください。

今度の市町村合併を機に香北、物部のご出身の方々にもご参加いただき、その輪を大きく広げて、楽しい

・問い合わせ先: 代表 南顕
06-6997-2103
06-6997-2103
FAX 06-6997-2106
06-6997-2106

まちの声・まちの風景(写真・イラスト)募集

住所・氏名・年齢・電話番号(または連絡方法)を明記してご投稿ください。なお、誌面の都合で掲載できない場合があります。
・『まちの声』の字数は400字以内(最低字数制限はありません)。趣旨を変えない範囲で直すことがあります。
・『まちの風景』の大きさは、写真イラストいずれもハガキ大以内。

【投稿先】

〒782-8501 香美市土佐山田町宝町1-2-1
香美市役所企画課内広報委員会事務局
FAX 53-5958 E-Mail kikaku@city.kami.kochi.jp